

5 発掘調査経歴等

(1) 発掘調査経歴

調査期間(参加期間)	遺跡名称	所在地	時代概要	資格	調査主体	調査団長	担当業務	報告書	写しの提出

調査期間：調査主任等で全期間参加の場合は、遺跡発掘期間に相当する「現場の発掘期間」

参加期間：発掘、整理期間などに個別に参加した場合はその期間

遺跡名称：調査した遺跡の正式名称で、発掘報告書の名称に統一すること。

所在地：都道府県名、市町村名までを記載

時代概要：調査した遺跡の「旧石器・縄文・弥生・古墳・古代・中世・近世」などの時代区分

遺跡の内容「住居跡・貝塚・古墳・城柵址・城館址・墳墓・生産（製鉄、窯業、製塩）遺跡・寺院・宮城・郡衙・庭園」などの種別

資格：調査補助員、調査員、調査主任、調査指導員などを記載

調査主体：発掘調査団組織について記載。学術発掘の場合は、文頭に◎印を記載。

調査団長：実際の発掘で、学術的に中心的役割を果たした者（調査指導員など）の職・氏名

担当業務：書類手続き・測量・発掘調査・写真撮影・遺物整理・原稿執筆・編集・発行等担当した業務を記載。全行程参加の場合は、「全行程」と記載。

報告書：書名・刊行年月日を記載

写しの提出：今回の職員採用資格試験申し込みにあたり、写しを添付した発掘調査報告書に◎印を記載

(2) 調査・研究発表経歴(論文、資料紹介などに分けて記載。発掘調査報告書を除く。)

題名	発表誌	発行所	発行年	概要	共著者	写しの提出	備考

概要：調査・研究対象とした地域・時代・遺跡内容などと分析方法、得られた成果などを簡便にまとめること。

写しの提出：今回の職員採用資格試験申し込みにあたり、写しを添付した調査・研究発表成果に◎印を記載

(3) 講演経歴などがある場合は、調査・研究発表経歴にしたがって記載

演題	発表大会名	会場	発表年	概要	共同発表者	備考

(注) 記載欄が不足するときは、適宜用紙を補充してください。